

## 国連防災世界会議の成果について

平成 17 年 1 月 18 日（火）～ 22 日（土） 兵庫県神戸市  
政府間会合参加者：

国連加盟国 168 ヶ国、国連機関等国際機関 78 機関、  
国内外の N G O、プレス 合計 4 千人以上が参加  
一般参加事業(パブリックフォーラム)参加者：4 万人以上  
議長：村田吉隆防災担当大臣

### 1 . 会議成果

テーマ：災害に強い国・コミュニティづくり

#### 兵庫行動枠組 2005 - 2015

今後 10 年の世界の災害被害の実質的な軽減に向け、持続可能な開発に関わる政策に防災の観点を取り入れること等を国際社会の戦略目標に位置づけ。

その達成のための優先行動メニューを特定し、各国、国際機関等の実施とフォローアップの方針を定める。

#### 兵庫宣言

持続可能な開発と防災との連携強化、災害予防の文化の普及の重要性等を掲げ、兵庫行動枠組の実施とフォローアップのためのあらゆる関係者の行動を呼びかけ。

#### インド洋災害に関する特別会合の共通の声明

インド洋災害に関する特別会合が開催され、国際的な調整と協力の基礎となる「共通の声明」をとりまとめ。

### 2 . 国際防災協力の積極的な推進のための日本の貢献

ODA を活用した「防災協力イニシアティブ」の推進  
アジア防災センター(神戸)を通じた地域防災協力の強化  
災害復興過程における災害に強い国・コミュニティづくりの推進等の国際レベルの連携プロジェクトの推進  
により、我が国の知識、技術を最大限に活用。

## インド洋地震津波災害への対応について

**2004年12月26日(日)災害発生**  
**スマトラ島沖大規模地震(M9.0)及びインド洋津波**  
**インド洋沿岸諸国(12カ国)においておよそ30万人の**  
**死者・行方不明者**  
**32名の邦人の死亡確認、欧米からの観光客も多数被災**

### 1. 我が国の主な対応

資金、知見、人的貢献の3点で最大限の支援を実施。

5億ドルの無償支援(国際機関、二国間各2.5億ドル)

過去最大規模の自衛隊を含む国際緊急援助隊の派遣

NGOによる支援活動、官民の支援物資リレー

政府調査団の派遣(タイ、スリランカ:3/13-21) 等

### 2. 津波早期警戒体制の構築に向けた支援

#### (1) 国連防災世界会議での対応

小泉総理の提案を受け、我が国主催の専門家会合や政府間特別会合を開催。議長により「共通の声明」をとりまとめ。国連による調整の下、我が国をはじめとする関係国・機関の知見と技術の移転を進めていくことについて確認。

#### (2) 我が国の具体的な貢献

国連の関連事業に対する400万ドルの拠出及びこれによる被災国ハイレベル政策対話の日本開催(2/22-24)

JICA主催の被災国津波防災担当者研修(3/7-18)

暫定的な措置として津波監視情報の提供

国連の調整の下で進められる本格的な津波早期警戒体制の構築に対する我が国の知見、技術の活用

# インド洋における津波監視情報の暫定的な提供

